

# 『散歩』寸評

- ・木管四重奏をていねいに仕上げましたね
- ・明快な音楽構成 モーツァルト『魔笛』をほうふつとさせる
- ・フルートをファゴットが模倣 m.9-12の対照的な性格とドミナントを用いたもりあがり 上手い
- ・各楽器にもたせた見せ場も手慣れている
- ・和声付けと和声配置にもまったく瑕疵がない

## 完成度をさらに上げるために

- ・テンポ設定は ♩=112 が望んだテンポでは？
- ・グループ括弧と小節線は全段通しにしよう
- ・楽器名、さいしょは省略せずにそれぞれOboe, Clarinet, Fagottoと書こう
- ・省略するときはピリオドをつけ、Ob., Cl., Fg.とするのが一般的
- ・奏者にディナーミクを指示しよう（はじまり、休みのあと、ディナーミクの変化するところ）
- ・m.10オーボエは属和音の第5音としてD#に解釈する
- ・クラリネットは移調楽器 in B $\flat$ , in Aの2つが一般的
- ・この曲ではin B $\flat$ で演奏させ、譜面は長二度上げたニ長調で記譜するといいでしょう
- ・ファゴットは低音楽器なので特別なソロでなければ高音でもへ音記号で記譜する例が多い
- ・どんな散歩なのか、タイトルの「散歩」に形容を振るか発想標語があるとなおよい

m.=measure 小節番号のことです。

たいへんよくできました。

持魔勉